

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## ベネッセ本郷台保育園

横浜市栄区小菅ヶ谷 1-1-6

運営主体：株式会社 ベネッセスタイルケア

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	5～7 ページ
● 分類・項目別評価結果	8～20 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	21～28 ページ
● 利用者本人調査分析	29～30 ページ
● 事業者コメント	31 ページ

公表日：2018年6月8日

実施機関：特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	ベネッセ本郷台保育園（保育所）		
報告書提出日	2018年3月29日	評価に要した期間	5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### ■評価方法

<b>1、自己評価</b> 実施期間 2017年7月30日～2017年12月9日	① 園長、主任が職員会議で今年度第三者評価を受診することを全職員に説明した。 ② 領域Ⅰ、Ⅱは保育士と看護師、栄養士、非常勤グループ、領域Ⅲ～Ⅵは園長、主任で進めた。 ③ 領域Ⅰ、Ⅱについては6のチームに分けた。個人が記入したものを各グループで各項目の意見を一つにまとめた。 ④ 毎月の職員会議で各グループのリーダーがそれぞれの項目の発表をし、具体的な取り組み、工夫事例を職員全体で共有した。 ⑤ それぞれのグループの発表後、園長、主任が各項目をまとめ確認した。
<b>2、利用者家族アンケート調査</b> 実施期間 2017年12月4日～2017年12月15日	① 全園児の保護者（49世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
<b>3、訪問実地調査</b> 実施日：第1日 2018年2月7日 第2日 2018年2月9日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：非常勤職員1名に面接調査。書類調査。主任に面接調査。  [第2日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士4名、看護師1名、栄養士1名に個別に面接調査。 その後、園長・主任・運営法人事業部長に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了
<b>4、利用者本人調査</b> 実施日：第1日 2018年2月7日 第2日 2018年2月9日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

ベネッセ本郷台保育園は、JR 根岸線本郷台駅から3分ほどの駅の近くにあり、大通り沿いにあり、隣接する市営本郷台住宅を始めとして、周囲には商店やマンションが並んでいますが、近隣には緑豊かな公園が複数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。

ベネッセ本郷台保育園は、平成25年（2013年）4月に株式会社ベネッセスタイルケアによって設立されました。運営法人は、首都圏を中心として保育園事業を数多く展開しています。

鉄筋コンクリート2階建ての園舎は、ビルに挟まれています。内部は自然色を用いていて、明るい印象です。園庭として砂場があり、一角では子どもたちがプランターで花や野菜を育てています。

定員は、60名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時30分～18時30分です。

保育理念として『『よりよく生きる力=Benesse』の基礎を育てる』、保育目標として「自分で考え、すすんで行動する子ども」「友だちと楽しく遊ぶ子ども」「感性豊かな子ども」、保育方針として「子どもの『個性と人格を尊重』し、主体性を育てます」「自然な生活の営みの中で子どもが『安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境』をつくります」「深い信頼関係に根ざした『豊かな人とのかかわり』を重視します」「身の回りの『社会・自然を通しての学び』を大切にします」を掲げています。

### ◆ 高く評価できる点

#### 1、保育士に優しく受け止めてもらい、子どもたちはのびのびと自分を表現しています

子どもたちが主体的に遊び込めるよう、保育室を低い棚やソファ、カフェカーテンなどで仕切ってコーナーを作り、子どもが遊びたい場所に行って好きな遊びを選んで遊べるよう環境構成しています。自由遊びの時間には、子どもたちは、絵本読み・お絵かき・積み木・ブロック遊び・汽車遊び・人形さんごっこなどで、自由に好きな遊びを楽しんでいます。また、ドッジボールや鬼ごっこなどの遊びを子どもの年齢や興味に応じて取り入れ、みんなで一緒に遊んだり競い合ったりする楽しさとともに、遊びのルールを守ることや友達を気遣う優しさの育ちを学んでいます。

0歳児～2歳児は育児担当制を取り、保育士との個別の関わりの中で愛着関係を築けるようにしています。

職員は決して否定語を用いず、穏やかな態度と優しい話し方で子どもに接し、子どもの言葉や表情、態度などから子どもの気持ちを汲み取っています。保育士は、乳児クラスの、単語にならない1音2音からも子どもの思いを的確に受け止め、言葉にして返し、子どもが言葉で表現できるように働きかけています。子どもたちは素直に自分の思いを言葉や態度で表現していて、幼児になると自分たちで話し合っ活動内容を決めています。子どもが給食で出た果物の種に興味を示したことから様々な野菜や果物の種を植えてみたり、神奈川県立地球市民かながわプラザで見た恐竜に関心をもった子どもの希望から夏祭りで幼児が恐竜のお神輿を作るなど、子どもの意見や要望を集団活動につなげています。子どもの想像する力から表現力を育てられるよう、制作の時間には、みんなで同じものを作ることを目的とせず、テーマだけを決め、子どもが自分が感じた作りたいものを、好きな素材や用具で作っています。集大成としての「お店屋さんごっこ」では、動物園で見た触るコーナーがあるペットショップや段ボールで作ったパトカーなど、子どもの発想がうかがえる企画がたくさんあります。

晴れていれば毎日、子どもたちは散歩に出かけ、身体を思いっきり動かしたり、季節の自然に触れたりしています。散歩では、駅前商店街の人々や途中で出会う地域の人々と親しく交流しています。子どもたちは地域住民と笑顔で会話を交わしたり、駅前商店街では1人ずつ抱き上げて挨拶してもらったりと、様々な地域住民とふれあっています。

このように、子どもたちはのびのびと自分を表現し、一人一人の子どものペースで園生活を楽しみ、成長しています。

## 2、保育士は目指す方向性を共有し、連携して保育に取り組んでいます

保育理念、目標、方針を園内に掲示するとともに、「ベネッセの保育の考え方」に記載して全職員に配付し、入職時の研修で周知しています。また、園内研修や全体会議などでも折りに触れて取り上げ、確認しています。保育士はチャレンジシートを用いて目標設定と中間期、年度末の振り返りをし、年3回の園長面談で評価を受けるとともに、保育の専門性チェックリストを用いて自身の保育を点検し、理念や方針に沿った保育の実践を目指しています。

研修も盛んで、毎月の園内研修や、運営法人による職務や等級別の研修を実施しています。また、職員は、横浜市や栄区などが主催する外部研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めています。

クラスのミーティングや全体会議では、一人一人の子どもの配慮事項について話し合っていて、全職員で全園児のことを把握しています。これらの取り組みを通して、職員は、子どもの人権を尊重した保育の姿を理解し、目指す方向性を共有していて、気になる事例が合ったときには、さりげなく声をかけたり、他の保育士が交替するなど、お互いに注意し合う関係が出来ていて、チームとして保育に取り組んでいます。

## 3、職員は、保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係の構築に努めています

園は、年2回、懇談会、個人面談を実施するほか、5歳児クラスまでの全クラスで「成長の記録」(連絡帳)を用いて、毎日、保護者と情報交換をしています。また、0歳児・1歳児のクラスだよりには個人別に前月の姿と、次月のねらいを記載する欄を設け、保護者と指導計画を共有し連携して取り組めるようにしています。

口頭でのコミュニケーションにも力を入れていて、送迎の保護者とは、各クラス担当職員はもとより、事務室のある玄関では園長・主任・事務職員、及び調理担当者など、園全体で保護者との会話を持つように心がけています。保護者の悩みには、随時個人面談を設定するなどして対応し、保護者が安心して子育てができるように支援しています。

このように細やかに保護者とコミュニケーションを取ることで、保護者と信頼関係を築き、連携して子育てができるようにしています。

### ◆ 改善や工夫が望まれる点

#### 1、地域に対して園の専門性を還元していくことが期待されます

隣接する高層の市営住宅自治会とは、園児の安全確保のためのハード面での協力依頼をするなど話し合いの機会を多くもち、市営住宅の集会室を、園の保護者懇談会などに貸してもらうなど、友好的な関係が構築されています。また、毎日の散歩の通り道となっている駅前の商店街とは日々の挨拶を通して温かな関係作りを行い、鮮魚店で給食に使う大きな魚を、子どもたちの目の前でさばいてもらい一人分ずつの切り身になるまでを見せてもらうなど、大変良好な交流があります。

ただし、地域の子育て支援サービスについては、地域住民におむつ替えや授乳をする場所の提供サービスを昨年度から始めていますが、子育て支援講座や定期的な育児相談は実施してなく、今後の課題となっています。地域との交流の中から地域の子育て支援ニーズを把握し、園の夏祭りの時に地域住民向けに育児相談ブースを設置するなど無理のない育児支援を工夫して園の専門性を地域に還元し、双方向での地域との交流を実現されることが期待されます。

#### 2、ボランティアおよび実習生受け入れの体制を整備していくことが期待されます

過去にボランティアとしてインターンシップの受け入れを行っていますが、主任が口頭で注意事項の説明を行い、利用者の個人情報の扱いや守秘義務遵守に関して誓約書を提出してもらっています。ただし、受け入れのマニュアルや注意事項を記載したボランティア向けのしおりの作成などは実施していません。また、実習生に関しても、受け入れの実績はあるものの、マニュアルの作成などの体制作りは今後の課題となっています。

園としては、今後もボランティアや実習生を受け入れていく姿勢がありますので、受け入れマニュアルの作成など、ボランティアや実習生受け入れのための体制を整えていくことが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・保育理念は『『よりよく生きる力=Benesse』の基礎を育てる」、保育目標は「自分で考え、すすんで行動する子ども」「友だちと楽しく遊ぶ子ども」「感性豊かな子ども」で、利用者本人を尊重したものとなっています。保育理念、目標、方針を「ベネッセの保育の考え方」に記載し全職員に配付するとともに、入職時の研修や園内研修で周知しています。
- ・職員は決して否定語を用いず、穏やかな態度と優しい話し方で子どもに接し、子どもの言葉や、気持ちの発信を受け止める力を養っています。乳児クラスの、単語にならない1音2音からも子どもの思いを的確に受け止めています。
- ・運営法人で「ベネッセの保育の考え方」として、保育に関わる人の姿勢について明記しています。子どもの人権を尊重した保育の姿を記し、全職員に配付しています。「ベネッセスタイル宣言」と合わせ、職員の保育に向き合う姿勢の根幹となっています。
- ・守秘義務の意義や目的、個人情報の取り扱いに関しては、運営法人で定めたプライバシーポリシーがあり、全職員に周知しています。ボランティアや実習生に対しても事前に説明し、これらについて遵守する誓約書を提出してもらっています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育室内は、子どもが遊びたい場所に行って好きな遊びを選択できるように、4・5か所のコーナーになっています。絵本・人形・ゲームなど、コーナーごとにおもちゃ類を分ける構成です。
- ・子どもたちは、絵本読み・お絵かき・積み木・ブロック遊び・汽車遊び・人形さんごっこなどで、自由に好きな遊びを楽しんでいます。また一斉活動では、みんなで一緒に遊んだり競い合ったりする楽しさとともに、遊びのルールを守ることや友達を気遣う優しさの育ちを学んでいます。
- ・毎日散歩に出かけている子どもたちは、駅前商店街の人々や途中で出会う地域の人々と親しく交流しています。丁寧な挨拶を心がける職員の姿が子どもたちにも伝わっています。地域の人と顔なじみとなり子どもも地域住民も笑顔で話しかけあったり、小さな子どもたちが1人ずつ抱き上げてもらったりなどの姿が見られました。
- ・制作の時間には、みんなで同じものを作ることを目的とせず、テーマだけを決め、子どもが絵本や実物を観察し自分が感じた作りたいものを、好きな素材や用具で作っています。子どもの想像する力から表現力を育てる目的です。またリトミックや楽器演奏などの時間も取り入れています。
- ・子どもが好きなものを食べてもらうことを基本とし、苦手な食べ物については“試してみる”程度にとどめ、完食を目的としていません。成長に伴い、子どもは自分で「いる」「いない」や「もっと」「へらして」などを申告しています。また年間の食育計画をたて、子どもたちが食事に関心を持つように工夫しています。
- ・送迎の保護者とは、コミュニケーションを丁寧に行っています。各クラス担当職員はもとより、事務室のある玄関では園長・主任・事務職員、及び調理担当者など、園全体で保護者との会話を持つように心がけています。
- ・5歳児クラスまでの全クラスで「成長の記録」（連絡帳）による保護者との情報交換をしています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画、月案、週案の作成、評価、見直しをしています。異年齢クラスの3～5歳児は異年齢指導計画と年齢別指導計画を作成しています。0～2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成するほか、全

員、個別のねらいと配慮、振り返りを記載しています。

- ・子どもや家庭の個別の状況や要望は、入園時に保護者に児童票に記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達の状況は、0歳児は毎月、1歳児～5歳児は4期に分けて児童票に記録しています。保育日誌には、全園児の記録欄があり、必要時に記載しています。
- ・「ベネッセ保育園安全衛生基準」として、業務マニュアル集を作成し事務室と各クラスに備えています。このマニュアル集に健康管理・衛生管理・安全管理マニュアルも含まれています。
- ・医療機関を含む救急機関への連絡先は一覧にして事務室に備えています。また、事故やケガの発生時の対応をフローチャートにしたり保育室内の電話機横には非常時の連絡手順を掲示したりするなどの体制を整え、落ち着いた適切な対応が出来るようにしています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・地域の子育て支援サービスについては、昨年度よりどのようなところから実現可能なサービスがあるかの検討を始めています。この検討から地域住民におむつ替えや授乳をする場所の提供サービスを昨年度から始めています。地域住民に子育て支援の講座などを開催も今後の課題となっています。
- ・園の建設段階から、隣接する高層の市営住宅自治会とは何度も話し合いの機会を持ち、園児の安全確保のためのハード面での協力依頼などを行っています。こうした交流の中で、市営住宅の集会室を、園の保護者懇談会などに貸してもらおう程の友好的な関係が構築されています。
- ・栄区内保育所のエリア交流として、近隣園と公園で待ち合わせをして一緒に遊ぶことや、神奈川県内の運営法人系列園で行うドッジボール大会への参加、就学に向けた小学校との交流、高齢者施設の訪問などを、年間を通して行っています。
- ・ボランティアや実習生受け入れの為のマニュアルがありません。過去に高校生のインターンシップを1名、実習生を1名受け入れていますが、受け入れ時は主任が口頭で注意事項の説明を行い、利用者の個人情報の扱いや守秘義務遵守に関して誓約書を提出してもらっています。今後も受け入れの姿勢があり、体制整備のスタートとして受け入れマニュアルや、ボランティアや実習生に向けたしおり作りなどが望まれます。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・「ベネッセスタイルケア宣言」の「5つの行動宣言」、「10の行動基準」の中で守るべき法、基本、倫理等を明文化し、全職員に配付するとともに、年1回読み合わせをしています。また、就業規則、マニュアル「ベネッセの保育の考え方」にも記載されています。運営法人や神奈川県、横浜市などから得た他施設の不正、不適切な事案は、職員更衣室のホワイトボードに掲示し、読んだ職員がチェックすることとしています。内容によっては全体会議でも取り上げ、職員に注意喚起しています。
- ・年1回の運営委員会で事業計画の報告はしていますが、経営・運営状況を積極的に公開することはしていません。
- ・今年度、幼児保育室の模様替えにあたっては、保育士と栄養士、看護師などが職種を超えて話し合いを重ねたなど、部門を超えた職員が話し合い組織をあげて取り組む姿勢があります。
- ・園の3カ年計画を作成しています。運営法人は次世代の組織運営に備え、新たな仕組みを常に検討しています。運営法人は、幹部職員を計画的に育成しています。運営法人は大学教授や保育や給食の専門家等、外部の専門家の意見を積極的に取り入れています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ・理念・方針を踏まえた人材育成計画があり、人材制度ガイドブックに記載し、職員に配付しています。保育士はチャレンジシートを用いて目標設定と中間期、年度末の振り返りをしています。年3回の園長面談で目標設定と達成度の評価をしています。
- ・毎月、保護者対応、不審者侵入防止、絵本の読み聞かせ、わらべ歌、ムーブメントなどのテーマで、

園内研修を実施しています。職員は、横浜市や西区などが主催する外部研修に参加しています。また、運営法人によるレベルアップ研修、新人研修、等級別研修等様々な研修があり、該当する職員が参加しています。

- 保育士はチャレンジシート、保育の専門性チェックリストを用い、自己評価しています。
- 職員は、研修などで得た良い事例や改善した事例をクラス会議や全体会議で報告し、改善に向けて話し合っています。横浜市港南地域療育センター、大学教授、臨床心理士などに、保育の様子を見てもらいアドバイスを受けています。

## 分類別評価結果

- ※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。
- ※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。  
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある
- ※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念は「『よりよく生きる力＝Benesse』の基礎を育てる」、保育目標は「自分で考え、すすんで行動する子ども」「友だちと楽しく遊ぶ子ども」「感性豊かな子ども」で、利用者本人を尊重したものとなっています。保育理念、目標、方針を「ベネッセの保育の考え方」に記載し全職員に配付するとともに、入職時の研修や園内研修で周知しています。保育士は子どもの心に寄り添い、子どもが自己肯定感を感じられるように支援していて、サービスの実施内容は保育の基本方針に沿っています。</li> <li>・保育課程は、保育理念、保育目標、保育方針に基づき、家庭の状況や周囲の環境を考慮して作成されていて、子どもの最善の利益を第一義にしています。保育課程は、全体会議で前年度の振り返りをし、見直しています。保護者に対しては、年度初めの懇談会で保育課程と年間カリキュラムについて説明するとともに、保育課程を運営規程のファイルに綴じ込んで玄関に置き、自由に見られるようにしています。</li> <li>・保育課程に基づき、年間指導計画、月案、週案を作成しています。</li> <li>・保育士は、子どもに寄り添い、子どもの表情や仕草、反応などから子どもの意思を丁寧にくみ取り、言葉にして返して子どもに確認しています。言語化出来る子どもからは、意見や要望を聞いています。子どもが給食にでた果物の種に興味を示したことから様々な野菜や果物の種を植えてみたり、オリンピックでいろいろな国の旗に興味を持ったことから夏祭り地球儀の御神輿を作るなど、子どもの興味や関心を指導計画に活かしています。</li> </ul>

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園前に児童票に家庭状況や生育歴、既往症などを保護者に記載してもらい、それに基づき、保育士、看護師、栄養士が保護者に面接をし、記載事項を確認しています。面接時には子どもを連れてきてもらい、観察しています。面談票は一人一人の児童ファイルに綴じ込み、職員がいつでも確認出来るようにするとともに、配慮事項などは、全体会議にて職員間で共有しています。
- ・子どもや保護者の状況にあわせ、1週間から10日を目安に、保護者と相談しながら慣らし保育を実施しています。0・1・2歳児は担当制を取り、子どもと愛着関係を築けるようにしています。
- ・1歳児は、入園当初は、新入園児と在園児を分け、在園児がそれまでの生活リズムを継続出来るようにしています。人員を多く配置し、子どもが落ち着いて活動出来るように配慮しています。環境が大きく変わる3歳児に関しては、進級説明会を実施して、異年齢クラスについて園長、主任が説明し、幼児クラスの担任がクラスの様子を伝えて、保護者の質問に答え、進級への不安が払拭できるようにしています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、指導計画の作成、評価、見直しをしています。異年齢クラスの3~5歳児は異年齢指導計画と年齢別指導計画を作成しています。年間指導計画はクラスで話し合って作成し、全体会議で共有しています。月案・週案はクラスで話し合って作成し、事務室において他のクラスの保育士も確認出来るようにしています。指導計画の評価、改定にあたっては保護者の意向も反映しています。

## I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・衛生管理マニュアル、掃除チェックリストに基づいて清掃がなされていて、園内・外とも生活に保たれています。こまめに窓を開けるとともに、24時間換気をしています。保育室に温・湿度計を設置し、エアコン、床暖房、加湿器を用いて温・湿度の管理をしています。園舎は、南側に高い建物があるため、日当たりは必ずしも良いとはいえませんが、室内は自然色で統一して緑を置き、窓も大きくとられていて、明るい印象になっています。
- ・保育士は子どもに穏やかな声で話しかけています。幼児は異年齢のクラス編成となっていますが、学年別活動をする際には、他のクラスは屋外活動をするなど調整し、年齢に合わせた落ち着いた活動に集中出来るようにしています。
- ・0歳児保育室には沐浴設備、園庭には温水シャワーの設備があります。沐浴・温水シャワーは、清掃が行き届き、清潔に管理されています。
- ・保育室には、コーナーが設けられていて、小集団で落ち着いて活動できるようになっています。0歳児クラスは、食べる・寝るの空間を分けています。他のクラスは、食事後には、きちんと清掃をしてから布団を敷いています。幼児は、異年齢児クラスとなっていて、日常的に交流しています。廊下や玄関の上がり口が異年齢交流の場となっています。

## I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・0～2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成するほか、全員、個別のねらいと配慮、振り返りを記載しています。個別の目標、計画は毎月のクラス会議で話し合い、評価、見直しをするほか、子どもの状況に変化が合った場合には、その都度見直しをしています。0・1歳児は、毎月の園便りに、一人一人の子どもの個別の目標と振り返りを記載し、保護者と共有しています。離乳食やトイレトレーニングの進め具合などは保護者の意向を確認しています。
- ・子どもや家庭の個別の状況や要望は、入園時に保護者に児童票に記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達の状況は、0歳児は毎月、1歳児～5歳児は4期に分けて児童票に記録しています。保育日誌には、全園児の記録欄があり、必要時に記載しています。子どもの記録は、鍵のかかる書庫に置かれていて、必要時にはいつでも確認することが出来ます。
- ・進級時には、クラス間で申し送りの時間を取り、子ども一人一人の支援の仕方について伝達しています。配慮すべきことは職員会議で共有しています。
- ・保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付しています。

## I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。個別のケースについて全体会議で話し合っていて、会議録に記録しています。情報は記録して事務室に置かれていて、いつでも確認することが出来ます。
- ・園はバリアフリー構造となっていて、車いす対応トイレ、エレベーター等を設置しています。
- ・保護者の同意を得て、よこはま港南地域療育センターのアドバイスをしています。また、運営法人から大学教授や臨床心理士を派遣してもらって保育の様子を見てもらい、支援の仕方についてのアドバイスを受けています。
- ・障がいの特性を考慮した個別指導計画を作成しています。栄区や横浜市の障がいなどの研修に参加した職員は研修報告書を提出するとともに、園内研修等で報告しています。フリーの保育士を配置し、一人一人の子どもに合わせた対応をすることで、子どもたちがクラスで活動できるようにしています。
- ・虐待対応マニュアルがあり、全職員に周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は、栄区こども家庭支援課や横浜市南部児童相談所と連携しています。朝の受け入れ時には、全身の健康チェックするなどし、虐待の防止に努めています。
- ・アレルギー疾患のある子どもに対しては、保護者に子どものかかりつけ医の記載した「保育所におけるアレルギー疾患等生活管理指導表」を提出してもらい、適切な対応をしています。毎月の献立表に食物アレルギー対応が必要な食材にマーカーで印をつけ、給食スタッフ、担任保育士、園長、保護者で確認し、除去食を提

	<p>供しています。除去食を提供する場合には、アレルギー出食チェック表を用いて給食スタッフ、保育士で確認し、配膳時には、口頭で確認しています。トレーの色を別にして食札を用い、誤食を防いでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍などの子どもに対しては、文化や習慣、考え方の違いを尊重しています。子どもの興味にあわせて、いろいろな国の言葉で挨拶したり、夏祭りで地球儀の御神輿を作ったり、食育で世界のパンを取り上げるなど、文化や生活習慣の違いを子どもが理解できるように働きかけています。</li> </ul>
<p><b>I-6 苦情解決体制</b></p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。  (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情受け付け担当者は主任、苦情解決責任者は園長、第三者委員1名を設置し、玄関に掲示するとともに園のしおりに明記しています。また、入園説明会で口頭でも説明しています。玄関に意見箱を設置するとともに、年2回の保護者懇談会を実施するほか、年に1度のCSアンケート、行事後のアンケートを行い、保護者の意見や要望を聞いています。登降園時には、保護者とコミュニケーションを取り、保護者の意見や要望を聞いています。また、連絡帳からも把握しています。</li> <li>・苦情解決マニュアルを整備しています。要望や苦情について全体会議で報告し、対策について話し合うとともに、記録してデータ化し、運営に活かしています。要望や苦情は、保護者代表、第三者委員、園長、運営本部による年1回の運営会議で、報告しています。</li> <li>・入園のしおりに運営法人の苦情受付担当者を紹介していますが、外部の権利擁護機関など他機関の窓口の紹介はしていません。今後は、権利擁護の視点からも、栄区役所や横浜市福祉調整委員会、かながわ福祉サービス適正化委員会などの外部の窓口も保護者に紹介することが期待されます。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</b></p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。  (2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。  (3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や玩具は、子どもの年齢や成長に合わせたものを豊富に備えています。進級時には前クラスで見慣れたものを少し移しておくなどの考慮もしています。また保育士による手作り玩具も多数備え、子どもの成長に即した機能と美しい仕上がりの玩具類が揃っています。</li> <li>・保育室内は、子どもが遊びたい場所に行き好きな遊びを選択できるように、4・5か所のコーナーになっています。絵本・人形・ゲームなど、コーナーごとにおもちゃ類を分ける構成です。室内は低い棚やソファ、カフェカーテンなどで仕切り、子どもが落ち着いて遊び込めるコーナー空間を作っています。</li> <li>・子どもたちは、絵本読み・お絵かき・積み木・ブロック遊び・汽車遊び・人形さんごっこなどで、自由に好きな遊びを楽しんでい</li> </ul>

(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

ます。また一斉活動では、みんなで一緒に遊んだり競い合ったりする楽しさとともに、遊びのルールを守ることや友達を気遣う優しさの育ちを学んでいます。

- ・夏まつりには神奈川県立地球市民かながわプラザで見た恐竜に関心をもった幼児クラスの子どもの意見から恐竜のお神輿を作ったり、昆虫の好きな乳児クラスの子どもの希望から虫型のお神輿を作るなど、子どもの発想を大切に育てています。
- ・保育室内で小さな魚やエビなどを飼育しています。子どもたちが餌やりや水の取り換えなどの世話を保育士と共に行っています。また5歳児は1人ずつが自分のメダカやエビを飼育しています。子どもが自分でつけた名前が貼ってある小さな水槽が並び、子どもたちが楽しみに観察しています。栽培活動はプランターで野菜を育て収穫して食べるまでの体験をしたり、全園児の名前ラベルを付けたチューリップの球根を植えるなどの取り組みをしています。チューリップのプランターは門を入った場所に並べられ、子どもたちは送迎の保護者と共に日々の育ちを観察しています。
- ・毎日散歩に出かけている子どもたちは、駅前商店街の人々や途中で出会う地域の人々と親しく交流しています。丁寧な挨拶を心がける職員の姿が子どもたちにも伝わっています。地域の人と顔なじみとなり子どもも地域住民も笑顔で話しかけあったり、小さな子どもたちが1人ずつ抱き上げてもらったりなどの姿が見られました。
- ・制作の時間には、みんなで同じものを作ることを目的とせず、テーマだけを決め、子どもが絵本や実物を観察し自分が感じた作りたいものを、好きな素材や用具で作っています。子どもの想像する力から表現力を育てる目的です。またリトミックや楽器演奏などの時間も取り入れています。
- ・例年、3日間の期間を設けた「お店屋さんごっこ」を、園の行事として行っています。段ボールやビニールひも・空き箱などを工夫して作ったお店と、その店らしい店員の支度があり、子どもたちの表現遊びの集大成となっています。
- ・子ども同士のけんかについては、言葉が未発達な乳児の場合は、ケガの無いように速やかに間に入り、それぞれの気持ちを代弁して伝えています。成長に伴い、すぐに仲裁に入るのではなく自分たちで解決できるように見守る時間を持つようにしています。
- ・0歳児クラスには、大型ブロックを組み合わせた安全な斜面があり子どもたちが上り下りに挑戦しています。跳び箱・平均台・鉄棒などの運動具も用意し、年齢に合った運動の環境を整えています。日々の散歩は年齢や発達に応じたコースの選択をしています。

## Ⅱ - 1 保育内容[生活]



(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

- ・給食は子どもが好きなものを食べてもらうことを基本とし、苦手な食べ物については“試してみる”程度にとどめ、完食を目的としていません。成長に伴い、子どもは自分で「いる」「いない」や「もっと」「へらして」などを申告しています。
- また年間の食育計画をたて、子どもたちが食事に関心を持つよう

- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- に工夫しています。
- ・ 幼児クラスの食卓には、テーブルクロスを敷き小さな季節の花を飾って、食事を楽しむ環境を整えています。
- ・ 食材は地元の商店から、できる限り国産の産地の分かるものを仕入れています。出汁については無添加の天然出汁を使用しています。食器は陶磁器製のものを使用し、割らないように丁寧に扱うことも学んでいます。
- ・ 食器や食具は、子どもの成長に合わせて大きさや形を数種類用意しています。
- ・ 給食時には、栄養士が各クラスを回り子どもの喫食状況を把握しています。職員休憩室には、子どもの喫食状況を記す用紙を備え、各クラスの職員の声を把握しています。さらに「給食フィードバック」とする用紙に、調理方法や献立の感想を記載し、法人本部に集約する仕組みがあります。
- ・ 玄関には、その日の給食サンプルを展示してお迎えの保護者に見てもらっています。サンプルケースの横には人気メニューのレシピをおき、自由に持ち帰ることができるようにしています。
- ・ 保護者への、給食試食会を実施しています。当日は栄養士も同席し、保護者からの相談にも応じています。
- ・ 午睡時間はカーテンで明るさを遮り入眠しやすい環境を整えています。乳児のクラスではコットの傍らに保育士が坐り優しく体をなでたり、抱いて話しかけながら寝かしつけたり、一人一人の子どもが安心して入眠できるように援助しています。
- ・ 乳幼児突然死症候群の予防対策として0歳児クラスは5分毎、1、2歳児クラスは10分毎の呼吸チェックを行っています。また、うつ伏せ寝にしない注意を徹底しています。
- ・ 一人一人の排泄の間隔を把握して、おむつ替えやトイレへの声かけを行っています。トイレトレーニングは決して無理することなく、子どもの気持ちや意思がトレーニングに向かうタイミングを見極めて進めています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・ 「ベネッセ保育園安全衛生基準」として、業務マニュアル集を作成し事務室と各クラスに備えています。このマニュアル集に健康管理マニュアルも含まれています。毎朝、看護師が各クラスを巡回し、その日の子どもの様子を把握しています。
- ・ 食後の歯磨きは3歳児クラスから行っています。乳児クラスは口内衛生の為に食前食後にお茶を飲んでいきます。子どもたちには毎年、看護師が紙芝居で歯磨きの大切さを話しています。
- ・ 健康診断は、0歳児は毎月、1歳児からは年2回実施しています。歯科健診を年1回、尿検査を3・4・5歳児に、身体測定を毎月実施し、記録しています。
- ・ 全ての健診の結果と身体測定の結果は「けんこうのきろく」に記入し、保護者にその都度確認してもらっています。
- ・ 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者には入園時に、「入園のしおり」に感染症の基礎知識や登園停止基準を明記し

	<p>て配付しています。登園停止基準のある感染症の一覧は各クラスにも掲示し、保護者に周知しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に感染症が発生した時には、玄関の掲示板と各クラスでの掲示により、保護者に知らせています。</li> <li>・感染症に関する最新情報は、看護師が主となり、職員会議での情報提供や毎朝のクラス巡回での注意喚起、更衣室への資料掲示などで職員への周知をしています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に関するマニュアルは「ベネッセの保育園安全衛生基準」に含まれており、運営法人本部で適宜改訂版を作成しています。</li> <li>・看護師を中心に、感染症の流行が予想される時期前に、毎年嘔吐処理の園内研修を行っています。また衛生管理に関するDVDを見る機会も設けています。玄関の手洗い場には紙コップとペーパータオルを備えて来園者の手洗い・うがいを義務付け、感染症予防対策をしています。</li> <li>・園舎内は清掃が適切に行われ清潔な状態です。</li> </ul>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。 (6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。 (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理は「ベネッセの保育園安全衛生基準」としたマニュアル集に含まれています。マニュアルは事故の発生場所を様々な想定して作成され、事務室と各クラスに備えています。保育室内の備品は地震などを想定し、固定マットや固定金具をとりつけています。</li> <li>・地震や火災を想定した避難訓練を毎月実施し、救急救命法の講習は、毎年全職員が受講しています。</li> <li>・医療機関を含む救急機関への連絡先は一覧にして事務室に備えています。また、事故やケガの発生時の対応をフローチャートにしたり保育室内の電話機横には非常時の連絡手順を掲示したりするなどの体制を整え、落ち着いた適切な対応が出来るようにしています。</li> <li>・子どものケガについては、軽いものであっても必ず保護者に報告しています。記録は「怪我・病気に関する記録」に、発生状況・受信までの経緯・医療機関の処置などについて記載し、裏面には再発防止策を記載しています。また医療機関を受診しない程度の怪我についても、別の様式の記録を取っています。</li> <li>・職員会議では、事故やケガの報告と再発防止策の検討が行われています。さらにヒヤリハットの報告も丁寧に取りあげ、職員間の意識共有をしています。</li> <li>・不審者などの侵入防止策として、出入口は施錠しています。保護者は暗証番号とモニター画面での顔確認で解錠をしています。また不審者対応の防災訓練も実施しています。</li> <li>・民間警備会社と契約し、24時間体制の緊急通報体制があります。</li> </ul>
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p>  <p>(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は決して否定語を用いず、穏やかな態度と優しい話し方で子どもに接し、子どもの言葉や、気持ちの発信を受け止める力を養っています。乳児クラスの、単語にならない1音2音からも子どもの思いを的確に受け止めています。</li> <li>・運営法人で「ベネッセの保育の考え方」として、保育に関わる人</li> </ul>

で、子どもの人格尊重を意識しているか。  
 (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。  
 (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。  
 (4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

の姿勢について明記しています。子どもの人権を尊重した保育の姿を記し、全職員に配付しています。「ベネッセスタイル宣言」と合わせ、職員の保育に向き合う姿勢の根幹となっています。

- ・保育室の環境は、パーテーションや低い家具などで数か所に区切る、園独自の設定をしています。小集団の遊びや一人で落ち着いて遊びに向かうことができるような様々な考慮があります。絵本を読むための小さなソファ設置や、落ち着いて知育玩具などに取り組みるように壁に向けて置いた机、カフェカーテンで視線を遮る工夫などがあります。
- ・子どものプライバシーを守る意識と配慮を心がけています。着替えやおむつ替えにおいても、脱がせ方着せ方の工夫、視線を遮る工夫などの細やかな心配りをしています。
- ・守秘義務の意義や目的、個人情報の取り扱いに関しては、運営法人で定めたプライバシーポリシーがあり、全職員に周知しています。ボランティアや実習生に対しても事前に説明し、これらについて遵守する誓約書を提出してもらっています。
- ・行事の役割やグループ分けなどを性別にしません。また子どもや保護者に対し、父親母親の役割を固定的に捉えた話し方をすることはありません。

## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。  
 (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。  
 (3)保護者の相談に応じているか。  
 (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。  
 (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。  
 (6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ・園の基本方針は入園説明会、及びクラス懇談会などで、保護者に説明しています。
- ・運営法人で年度末に行う利用者の満足度調査のほか、保育参加やクラス懇談会、園行事の時にも保護者アンケートを実施しています。
- ・送迎の保護者とは、コミュニケーションを丁寧に行っています。各クラス担当職員はもとより、事務室のある玄関では園長・主任・事務職員、及び調理担当者など、園全体で保護者との会話を持つように心がけています。
- ・5歳児クラスまでの全クラスで「成長の記録」(連絡帳)による保護者との情報交換をしています。
- ・個人面談を年2回実施しています。この設定面談以外にも希望や必要に応じて随時行っています。
- ・保護者からの相談には、内容に応じて相談室を使用し他人の目を気にせず落ち着いて相談が出来るように配慮しています。
- ・職員が保護者からの相談を受けた場合には必ず園長又は主任に報告し、内容によっては園長・主任が同席して相談に応じるなどの対応をしています。
- ・園だより・クラスだより・保健だより・給食だよりを毎月発行しています。0歳児・1歳児のクラスだよりには個人別に前月の姿と、次月のねらいを記載する欄を設け、一人一人へのお便りとしています。
- ・その日の保育の様子は、各クラス、及び異年齢クラス内の各チームで、写真入りの活動の様子を、クラス内に掲示しています。掲示の横には、掲示物の縮小版をプリントして備え、希望する保護

	<p>者が自由に持ち帰ることができるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者懇談会は年 2 回開催し、年度始めの懇談会ではクラスとしての目標を説明し、年度末には子どもたちの成長の様子と進級に向けた説明を、行っています。</li> <li>・現在、年間行事予定を作成しておらず、保護者には 3 ヶ月前までに行事予定を知らせるという体制でしたが、保護者からの要望を受け、次年度からは年間の行事予定を作成することが決定しています。</li> <li>・保護者会がなく、保護者の自主的な活動及び活動への職員参加もありませんが、保護者の代表が、構成メンバーに含まれる運営委員会があり、定例会議においては活発な意見交換や要望の提示などが行われています。</li> </ul>
--	--

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</b></p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩先で出会う子ども連れの地域住民との会話や、地域の子育て支援イベント準備会議の席上の会話などから保育所へのニーズ把握をするように心がけています。</li> <li>・園見学者が多く、見学者からの育児相談に丁寧に応じています。相談を通して地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・地域の子育て支援サービスについては、昨年度よりどのようなところから実現可能なサービスがあるかの検討を始めています。この検討から地域住民におむつ替えや授乳をする場所の提供サービスを昨年度から始めています。</li> <li>・地域住民に子育て支援の講座などを開催するには至っていません。</li> </ul>
<p><b>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</b></p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のホームページがあります。また園のお知らせを、道路に面した入り口に掲示をしたり、栄区民まつりの会場に園のパンフレットを置くなどして園情報を提供しています。</li> <li>・定期的な相談日を設けた育児相談は行っていません。</li> <li>・地域住民からの相談に必要なと思われる関係機関（栄区役所、よこはま港南地域療育センター、南部児童相談所・近隣の小学校・保育所など）の連絡先は一覧にして事務室に備え、必要な時に職員が活用できるようにしています。</li> <li>・関係機関との連携は、園長又は主任が務め、それぞれの関係機関とは日常的な連携ができています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。            (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体機関と定期的・計画的に交流を図るには至っていません。</li> <li>・園の建設段階から、隣接する高層の市営住宅自治会とは何度も話し合いの機会を持ち、園児の安全確保のためのハード面での協力依頼などを行っています。こうした交流の中で、市営住宅の集会室を、園の保護者懇談会などに貸してもらう程の友好的な関係が構築されています。また毎日の散歩の通り道となっている駅前の商店街とは日々の挨拶を通して温かな関係作りを行い、大変良好な交流があります。生鮮食品店は給食食材の仕入れ先であり、安全な食材を届けてもらっています。鮮魚店では給食に使う大きな魚を、子どもたちの目の前でさばいてもらい、一人分ずつの切り身になるまでを見せてもらっています。魚が苦手な子どもも食べられるようになる効果も出ています。</li> <li>・栄区内保育所のエリア交流として、近隣園と公園で待ち合わせをして一緒に遊ぶことや、神奈川県内の運営法人系列園で行うドッジボール大会への参加、就学に向けた小学校との交流、高齢者施設の訪問などを、年間を通して行っています。また地域の本郷台駅前祭りに、子どもたちが参加しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。            (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のホームページがあり、園の保育方針・サービス内容・園舎内の様子などを掲載しています。また栄区役所や栄区の子育て支援イベント開催会場に園のパンフレットをおいています。</li> <li>・利用希望者からの問い合わせには、常時対応できる体制があり、園のパンフレットに基づいて、園の基本方針やサービスの内容などについて説明しています。</li> <li>・利用希望者には見学が出来ることを案内し、見学日は、保育に支障をきたさない範囲で、月に何回か（1回に5,6組程度）設定しています。園舎のハード面での制約もあり、子どもたちが散歩に出かけている午前中の時間を勧めています。多くの見学者があり、園長もしくは主任が丁寧に対応するように心がけています。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</b></p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。            (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生受け入れの為のマニュアルがありません。過去に高校生のインターンシップを1名、実習生を1名受け入れていますが、受け入れ時は主任が口頭で注意事項の説明を行い、利用者の個人情報の扱いや守秘義務遵守に関して誓約書を提出してもらっています。今後も受け入れの姿勢があり、体制整備のスタートとして受け入れマニュアルや、ボランティアや実習生に向けたしおり作りなどが望まれます。</li> <li>・ボランティアや実習生の受け入れにあたり、保護者には園だよりや掲示ボードで知らせています。</li> <li>・実習のプログラムは学校や学生からの希望に沿って作成し、効果的な実習となるように工夫しています。</li> <li>・毎日の実習記録にクラス担当職員がコメントを入れるほか、最終日には主任が学生との意見交換を行っています。</li> </ul>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。                  (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。                  (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・方針を踏まえた人材育成計画があり、人材制度ガイドブックに記載し、職員に配付しています。保育士はチャレンジシートを用いて目標設定と中間期、年度末の振り返りをしています。年3回の園長面談で目標設定と達成度の評価をしています。</li> <li>・毎月、保護者対応、不審者侵入防止、絵本の読み聞かせ、わらべ歌、ムーブメントなどのテーマで、園内研修を実施しています。職員は、横浜市や栄区などが主催する外部研修に参加しています。また、運営法人によるレベルアップ研修、新人研修、看護師会、給食スタッフ会、等級別研修等様々な研修があり、該当する職員が参加しています。研修に参加した職員は、研修報告書を作成するとともに、園内研修や全体会議で報告しています。</li> <li>・非常勤職員を含む全職員に、マニュアル「ベネッセの保育の考え方」を配付しています。安全衛生基準などのマニュアルは各保育室に置き、いつでも確認出来るようにしています。</li> <li>・非常勤職員も絵本の読み聞かせやムーブメント等の園内研修に参加しています。年1回、園長は、非常勤ミーティングを主宰し、基本理念や基本方針、人権など園が大切にしていることを説明し、意見や要望を聞いています。非常勤職員の指導担当者は主任で、現場を回って非常勤職員とコミュニケーションを図っています。</li> </ul>
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。                  (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。                  (3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士はチャレンジシート、保育の専門性チェックリストを用い、自己評価しています。</li> <li>・職員は、研修などで得た良い事例や改善した事例をクラス会議や全体会議で報告し、改善に向けて話し合っています。よこはま港南地域療育センター、大学教授、臨床心理士などに、保育の様子を見てもらいアドバイスを受けています。</li> <li>・指導計画や日誌には振り返りの欄があり、定型化しています。自己評価は計画で意図したねらいと関連づけて行われています。保育士は、一人一人の子どもの育ちや意欲、取り組む姿勢などを大切に保育にあたって、自己評価もその視点に沿ってなされています。自己評価の結果は、その後の計画作成に反映しています。</li> <li>・年度末には、保護者アンケート（CS アンケート）を実施し、結果から園としての課題を抽出し、全体会議で話し合っています。保育士の自己評価の結果と保護者アンケートの結果から課題を抽出し、運営計画に反映しています。ただし、園の自己評価としてまとめ職員間で話し合うまでには至っていないので、今後は、園の自己評価としてまとめ、公表していくことが期待されます。</li> </ul>

### V-3 職員のモチベーションの維持



(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- ・人事制度ガイドブックの中に、等級別の職務遂行、保育の専門性など、役割や期待水準が明記されています。
- ・年1回の職員アンケート（ESアンケート）で職員の提案や意見を聴取しています。また、全体会議でも職員の意見や提案を募るとともに、年3回の園長による個人面談でも職員の満足度や要望を聞いています。

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベネッセスタイルケア宣言」の「5つの行動宣言」、「10の行動基準」の中で守るべき法、基本、倫理等を明文化し、全職員に配付するとともに、年1回読み合わせをしています。また、就業規則、マニュアル「ベネッセの保育の考え方」にも記載されています。運営法人や神奈川県、横浜市などから得た他施設の不正、不適切な事案は、職員更衣室のホワイトボードに掲示し、読んだ職員がチェックすることとしています。内容によっては全体会議でも取り上げ、職員に注意喚起しています。</li> <li>・年1回の運営委員会で事業計画の報告はしていますが、経営・運営状況を積極的に公開することはしていません。</li> <li>・廃材を子どもたちの制作の素材に用いるなど、ゴミの減量化、リサイクルに取り組んでいます。エアコンの設定温度を決めるなど省エネルギーに取り組んでいます。緑化の取り組みとしては、プランターで植物を育てています。</li> <li>・「ベネッセスタイルケア宣言」の「10の行動基準」に地球環境への配慮についての考え方を明記しています。</li> </ul>
<p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念、保育目標、保育方針を玄関に掲示するとともに、マニュアル「ベネッセ保育の考え方」に明記し、全職員に配付し、入職時の運営法人の研修や園内研修、全体会議で職員に周知しています。園長、主任は指導計画や日誌に目を通すとともに、保育の様子を見て回り、職員が理念や方針を理解しているかを確認し、必要に応じて指導やアドバイスをしています。年3回の園長による個人面談でも確認しています。</li> <li>・来年度から幼児クラスを2クラスに分けるなど、重要な意思決定にあたり、職員に対しては全体会議で、保護者に対しては懇談会で説明しています。</li> <li>・今年度、幼児保育室の模様替えにあたっては、保育士と栄養士、看護師などが職種を超えて話し合いを重ねたなど、部門を超えた職員が話し合い組織をあげて取り組む姿勢があります。</li> <li>・運営法人の主任会で主任クラスの育成を計画的に行っています。主任はフリーの立場で全クラスを回り、個々の職員の業務状況を把握し、</li> </ul>

	<p>必要な指導やアドバイスをしています。主任は、職員とのコミュニケーションを取り、職員が精神的、肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう支援しています。</p>
<p>VI-3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は横浜市私立園長会、栄区園長会、横浜市社会福祉協議会、運営法人の事業部園長会などの各種会議に出席し、事業運営に影響のある情報を収集、分析しています。重要な情報は主任と協議し、重点改善課題として設定し、全体会議で説明し、園として取り組んでいます。</li> <li>・園の3カ年計画を作成しています。運営法人は次世代の組織運営に備え、新たな仕組みを常に検討しています。運営法人は、幹部職員を計画的に育成しています。</li> <li>・運営法人は大学教授や保育や給食の専門家等、外部の専門家の意見を積極的に取り入れています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2017年12月4日～12月15日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 65.3%（49枚配付、32枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…2人、1歳児クラス…7人、2歳児クラス…9人、3歳児クラス…6人、  
4歳児クラス…4人、5歳児クラス…4人、無回答…0人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・園の保育目標・保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて75%で、その全員が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。
- ・項目の中で比較的満足度の割合が高いのは、「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」の100%、「園の目標や方針についての説明」「入園時の面接などでお子さんの様子や生育歴などを聞く対応」「保育園での1日の過ごし方についての説明」「園のおもちゃや教材」「お子さんの体調への気配り」「話しやすい雰囲気、態度であるか」の96.9%です。
- ・一方、不満の割合が比較的高いのは、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」の28.7%、「年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」の21.9%です。
- ・「見学の受け入れについて」の満足度が68.8%と低くなっていますが、「その他」が31.3%あり、自由意見にも「新園だったため見学はありませんでした」という記述があります。
- ・総合的な満足度は「満足」が46.9%、「どちらかと言えば満足」が46.9%、合わせて93.8%と高くなっています。
- ・自由記述欄には、「安心して預けることができます」「毎日楽しく園へ行くことができ満足です」「子どもとの信頼関係、保護者との関係も良好です」などの感謝や賛同の声が複数あります。一方、「職員によって対応が異なる」「もう少し保護者の意見を聞いてほしい」など様々な意見が寄せられています。

### ◆まとめ

- ・全設問37問中、満足度が90%を超える項目が21項目あり、80%を超える項目が13項目となっていて保護者の満足度は比較的高いといえますが、園と保護者との連携・交流など保護者とのコミュニケーションを問う項目に不満の割合が高いものがあるので、さらなる工夫が期待されます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2017年12月4日～12月15日

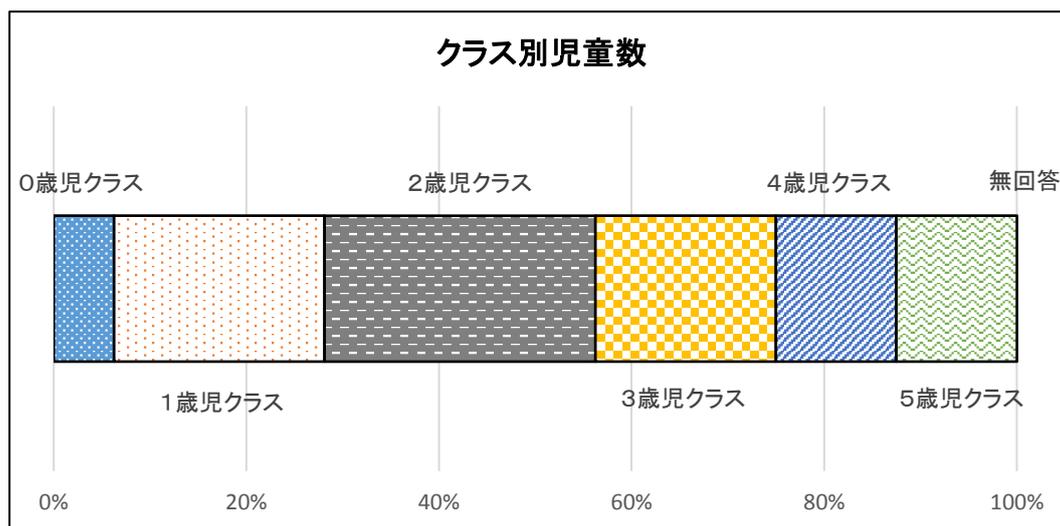
回収率：65.3%（回収32枚／配付49枚）

### 【属性】

クラス別児童数 (人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
32	2	7	9	6	4	4	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

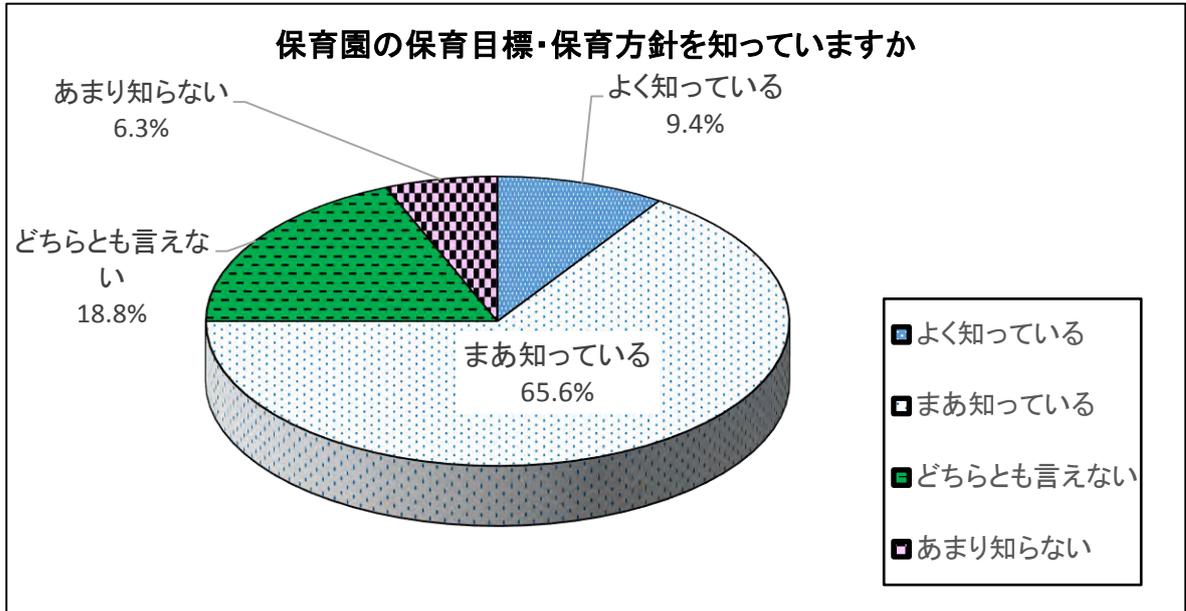


## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	9.4%	65.6%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%

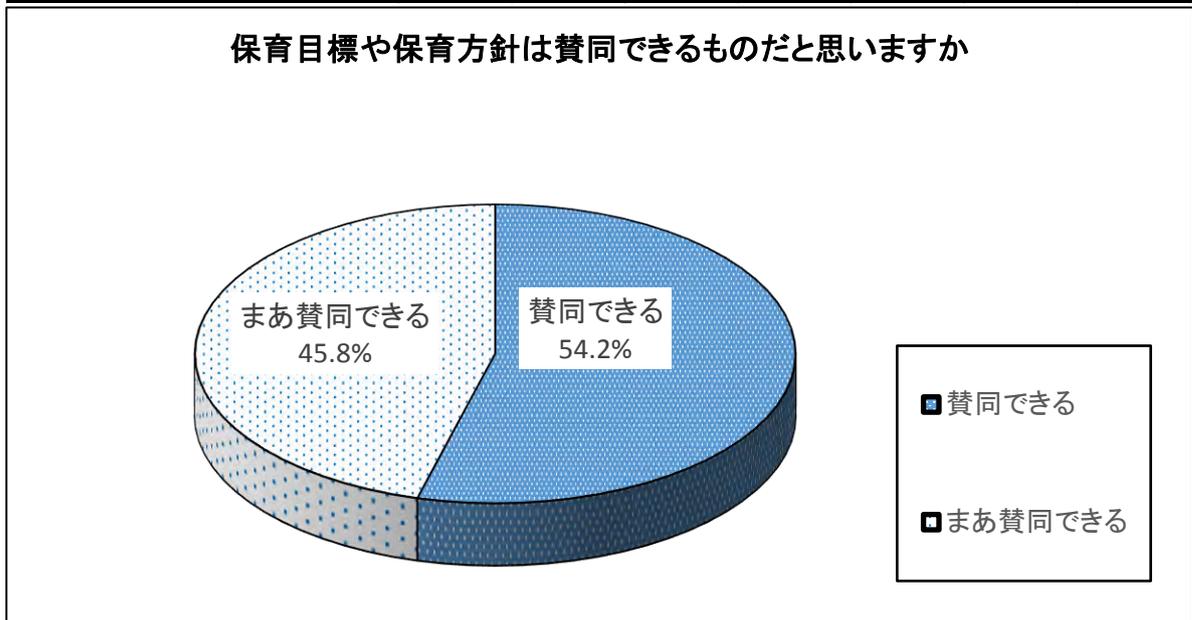
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	54.2%	45.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

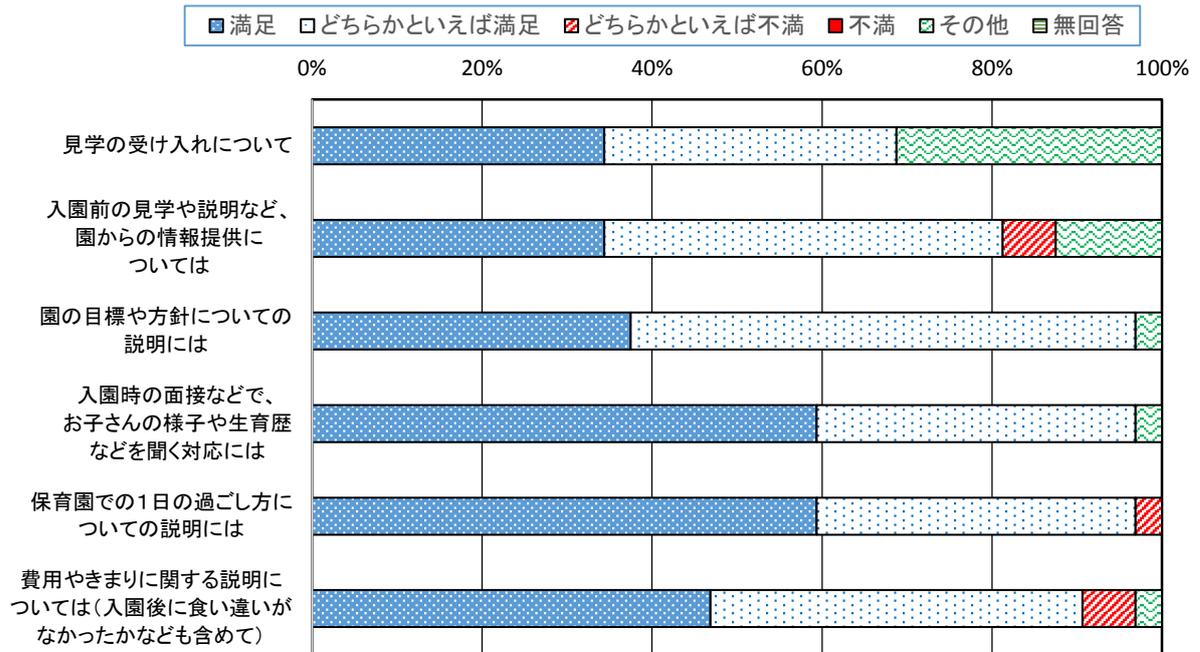


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	34.4%	34.4%	0.0%	0.0%	31.3%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	34.4%	46.9%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	37.5%	59.4%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	59.4%	37.5%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	59.4%	37.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	46.9%	43.8%	6.3%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%

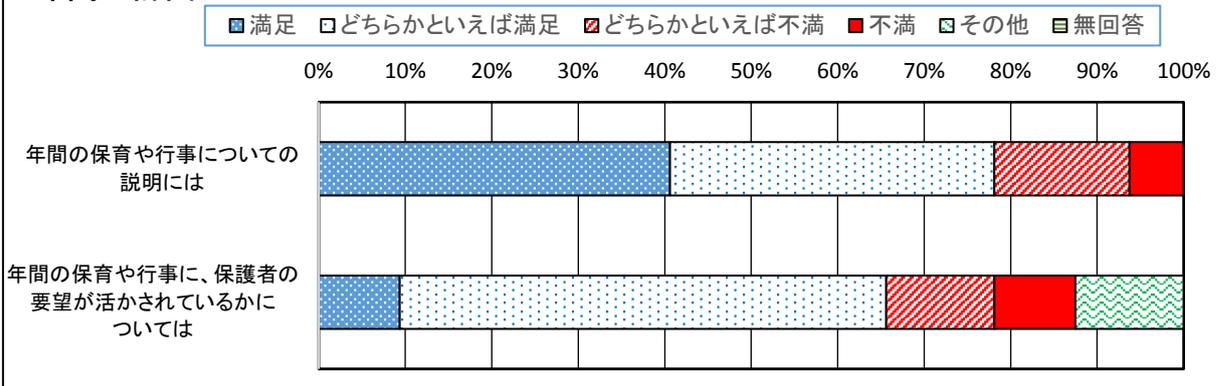
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	40.6%	37.5%	15.6%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	9.4%	56.3%	12.5%	9.4%	12.5%	0.0%	100.0%

年間の計画について



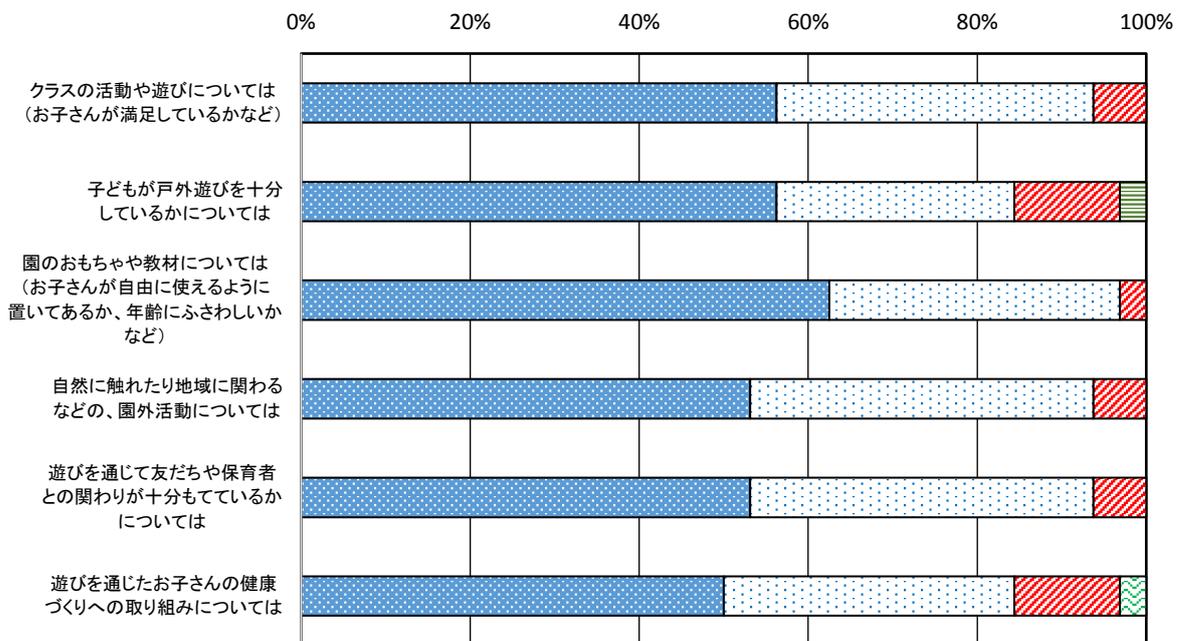
問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	56.3%	28.1%	12.5%	0.0%	0.0%	3.1%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	62.5%	34.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	53.1%	40.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	53.1%	40.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	50.0%	34.4%	12.5%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について

■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 □無回答

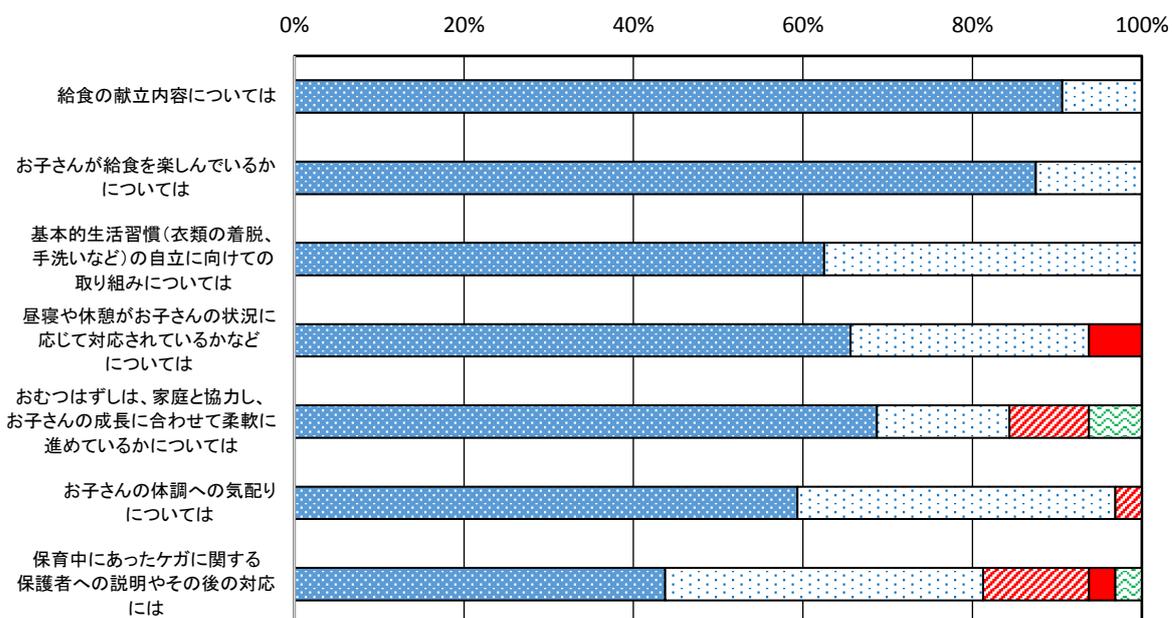


●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	90.6%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
屋寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	65.6%	28.1%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	68.8%	15.6%	9.4%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	59.4%	37.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	43.8%	37.5%	12.5%	3.1%	3.1%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「生活」について

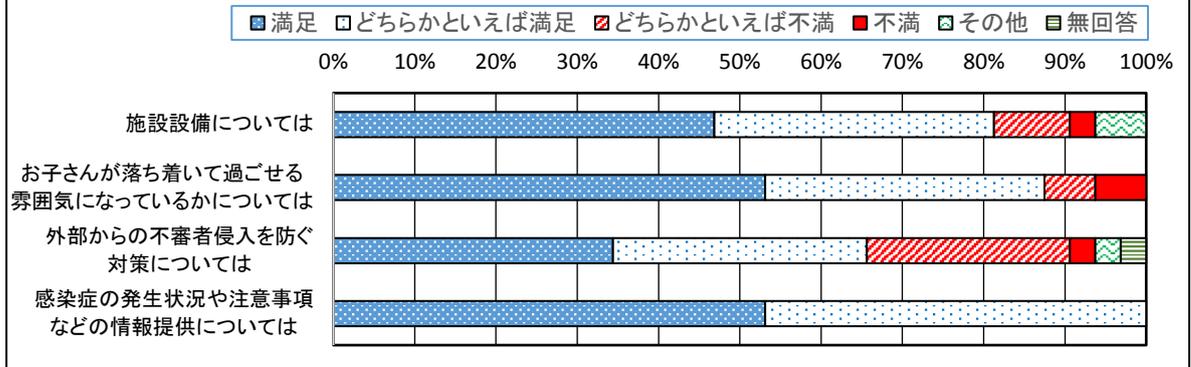
■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 □無回答



問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	46.9%	34.4%	9.4%	3.1%	6.3%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	53.1%	34.4%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	34.4%	31.3%	25.0%	3.1%	3.1%	3.1%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	53.1%	46.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

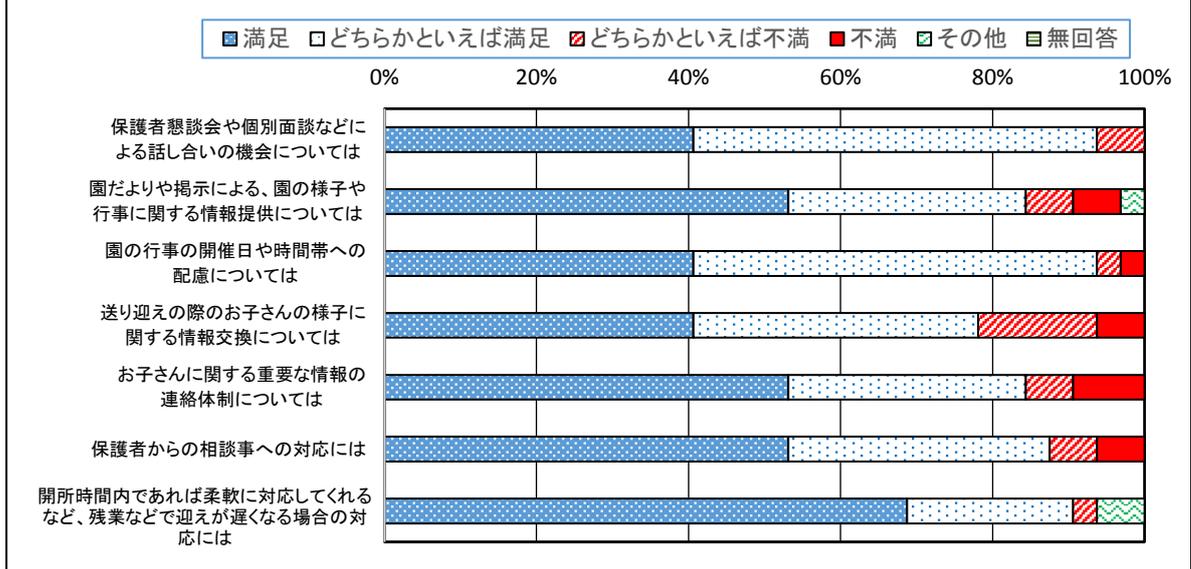
### 快適さや安全対策などについて



問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

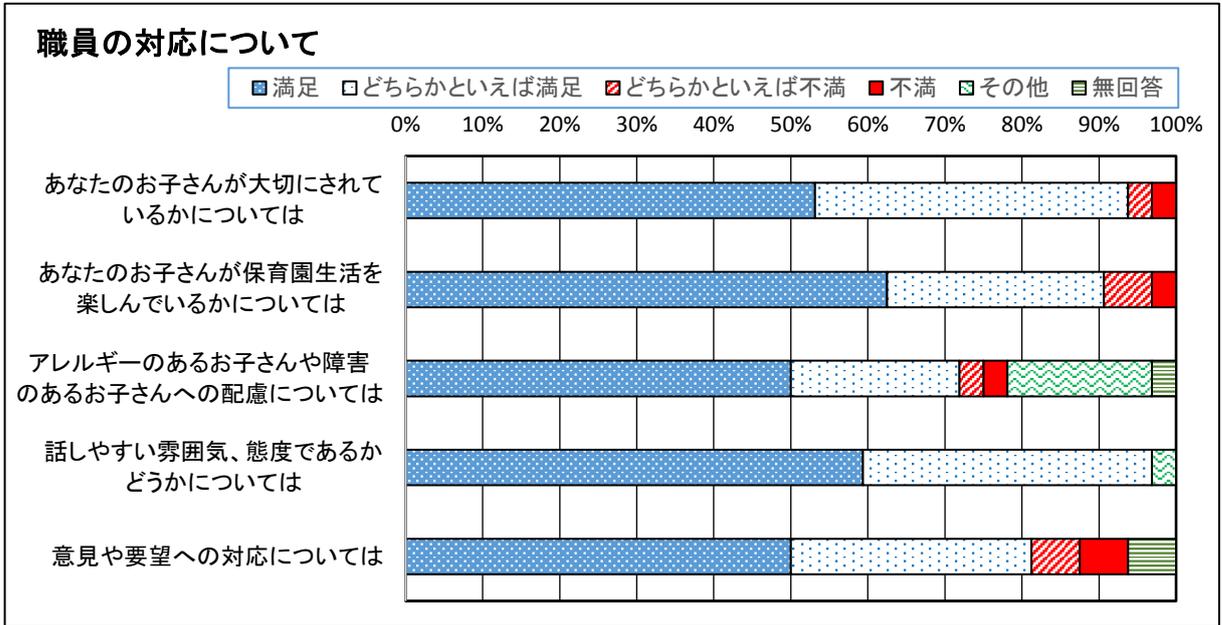
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	40.6%	53.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	53.1%	31.3%	6.3%	6.3%	3.1%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	40.6%	53.1%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	40.6%	37.5%	15.6%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	53.1%	31.3%	6.3%	9.4%	0.0%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	53.1%	34.4%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	68.8%	21.9%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%

### 園と保護者との連携・交流について



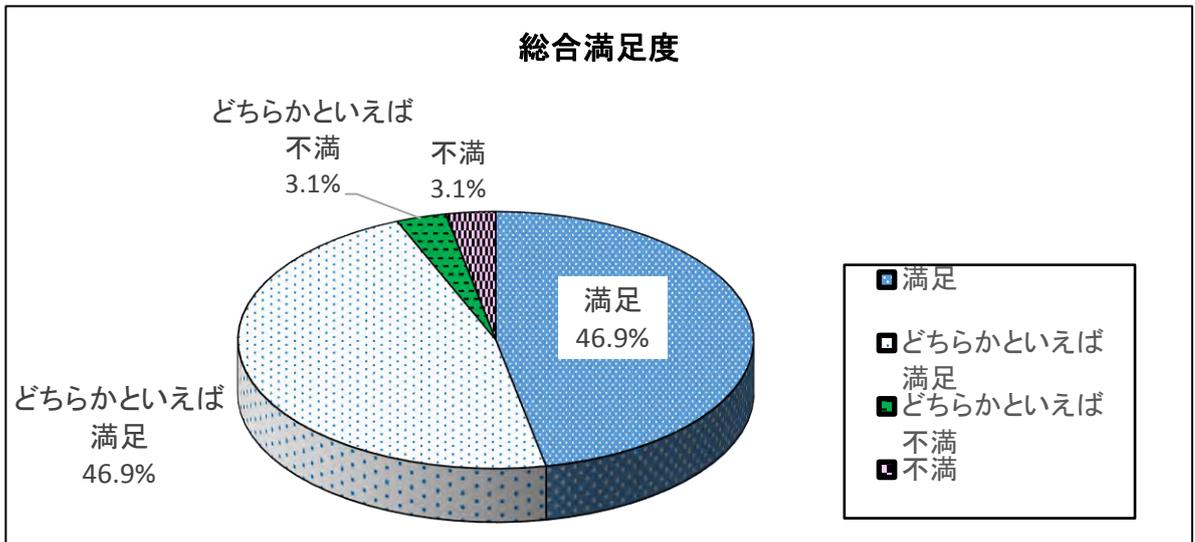
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	53.1%	40.6%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	62.5%	28.1%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	50.0%	21.9%	3.1%	3.1%	18.8%	3.1%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	59.4%	37.5%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	50.0%	31.3%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	100.0%



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	46.9%	46.9%	3.1%	3.1%	0.0%	100.0%



## 利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①2月7日（水）9：00～12：20 ②2月9日（金）9：10～12：20

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### ◆ 0歳児クラス（マミー）

玄関で、散歩に出かける支度をしています。靴箱から自分で自分の靴を探し、保育士に渡してはかせてもらっています。カートに乗って出かけますが、歩きたい子どもは保育士と手をつなぎ、しっかり歩いて散歩先の公園までがんばります。公園での子どもたちは、枯葉を踏んで歩いたり、土管のトンネルをくぐり抜けたり、霜柱を触ったり、砂場で保育士と山を作ったり壊したりなどして遊んでいます。冬の寒さの中でも元気に外遊びを楽しんでいます。

給食の準備が整いました。クラス全員が離乳食を卒業して普通食になっています。縁に程よい高さのある食器はスプーンですくい易く工夫されたもので、子どもたちはスプーンを持って上手に食べています。傍らで保育士が、スプーンに食べ物を乗せるのを手伝ったり、持ち方を直したりの援助をしています。一度にたくさん食べすぎてしまう、食べることが大好きな子どもには、何度かに分けて少しずつ配膳しています。保育士は一人ずつの子どもの食べ方によって、きめ細かな対応をしています。

午睡時間に寝付く事が出来ずにぐずっている子どもがいます。みんなが寝て静かになった廊下で保育士に抱かれ、窓から外を見ながら優しくあやしてもらっています。

### ◆ 1歳児クラス（タドル）

保育室内のいくつかのコーナーでは、子どもたちが自由に自分の好きな遊び場所で楽しんでいます。人形やぬいぐるみを抱いて歩いている子ども、色合いのきれいな木の電車を長くつなげている子ども、二人並んできちんと座り、長方形の積み木を耳に当てて嬉しそうに電話ごっこをする子どもたちは、時々耳から外して電話機を操作するように指でこすったり「もしもし」と話しかけたりしています。保育士に絵本を読んでもらっている子どもたちもいます。

転んだ子どもをトントンしてあげている子どもは、本人は慰めているつもりですが力加減が出来ずに少し荒っぽく見えます。傍らでは保育士が「やさしくね」と言葉を添えています。

散歩から帰った保育室の入り口では、「お手々洗いましょ」と言われた子どもが奥の手洗い場に行くとして自分で腕まくりをして手洗いをしています。自分で出来ることも増えてきました。一人ずつ名前を呼ばれておむつ替えもしてもらいます。「ちっち、替えよう」と、トイレに呼ばれています。小さな椅子に腰かけて保育士と向き合う時間でもあります。「○ちゃん、おズボン脱ぎ脱ぎできるかな」子どもはとても頑張って一人で脱ぐ挑戦をしています。隣で見守る保育士から「がんばれ」と、応援してもらい大成功です。

### ◆ 2歳児クラス（サーチャー）

散歩で、手をつなぎ友達を決めています。保育士が用意したカードを引いて同じ模様の友達と手をつなぎ約束です。カードを引く前には、保育士が「つなぎたくないと言ったら悲しくなるよ」と、話しをしています。散歩のペアが決まって身支度です。帽子と上着まで保育室で支度して玄関に降りて行きます。靴下と靴は、少し時間がかかっても自分で履くことができるようになりました。難しいところは保育士に手助けしてもらって準備完了です。

いつものように、顔なじみの人が揃っている駅前商店街を通ります。ケーキ屋さん、八百屋さん、魚屋さん、みんなが子どもたちに優しい笑顔で手を振ってくれます。本屋さんは閉まっていたが途中で自転車に乗って配達から帰ってくるおじさんと出会い、子どもたちからは歓声があがります。保育園の子どもみんなを可愛がってくれる、子どもたちが大好きなおじさんです。

公園では、子どもが見つけた一つのドングリが原因で機嫌の悪い空気がみんなに広がっていたところ、一人の子どもが「僕がドングリを探してあげる」と言って、下を向いて歩き出します。なんだか、おじいさんのような姿が楽しくて他の子どもたちも真似をして歩きます。「○じいさん」「△ばあさん」と、ふざけて呼び合ううちに、クラスのみんなに笑顔が戻りました。

#### ◆ 3・4・5 歳児クラス（プレジャー・アクティブ・チャレンジ）

朝の会では、5 歳児が給食のメニュー紹介をしています。保育士が今日のメニューの中から子ども達に質問です。「ポークソテーってわかる？」「ポークは英語でね」と、鼻を指で押して豚の鳴き声をしてみせています。子どもたちからはすぐに「ぶた！」と、大きな声で答えが出ます。「そう、ポークは豚さん」次に「ソテーはこういうこと」と、フライパンで焼くジェスチャーにも答えがすぐに上がりました。「炒める！」給食の料理がイメージ出来ました。

公園では、おおむね、5 歳児クラスはドッジボール、4 歳児クラスはドッジボールを簡単にした「なかあて」、3 歳児クラスは「花いちもんめ」や「お宝ゲーム」が始まります。きちんと年齢ごとに分かれているわけではなく、時々4 歳児が3 歳児の遊びに加わることもあります。ドッジボールは緑と赤のゼッケンでチーム分けをして本格的な試合形式です。子どもたちはルールもしっかり覚えていて、保育士の声かけも専門的です。「前に出る、ここまで出て投げる」「顔をそむけちゃだめ、ちゃんと見て」「○くん、惜しい！」「△ちゃん、投げ方すごく良かったね」一人ずつ、出来るようになったことをほめてもらっています。「なかあて」は、2 人の外野が円の外からボールを当てるゲームです。外野を決める話し合いやルールを説明してもらい「エイエイオー ぜったい当たらないぞー！」と、みんなで叫んでゲーム開始です。遊んでいるうちにルールが曖昧になってきたり、敵と味方がわからなくなることもあります。子どもたちは友達との楽しい遊びに満足です。小さな子どもたちは「お宝ゲーム」用に公園の中をきれいな石を探して歩いたり、根がついたままの枯れ草で箒のようにして「お掃除お掃除」と言いながら走ったり、友達同士で変顔をしてはしゃいだり、無邪気な遊びを楽しんでいます。

公園で帰り支度に年下の子どものファスナーをあげてあげたり、給食の準備でスプーンやフォークの向きを整えてあげたりする年上の子どもの姿や、年上の子どもの遊びを見つめる 4 歳児の姿など、異年齢クラスならではのほほえましい場面が何度も見られました。

#### ◆ お店屋さんごっこ（3・4・5 歳児）

3 日間開催する、大掛かりな「お店屋さんごっこ」が開かれています。1 階の保育室 2 部屋を使って、とても賑やかでお祭りのような華やかさの室内です。アクセサリーショップには可愛いピアスやネックレスや指輪が並び、店員役の子どもたちもピンクやブルーのビニール袋を上手にスカートにしたり、髪飾りをつけたりして、おしゃれな店員さんになっています。ペットショップでは色々な廃材で工夫して作った犬・猫・ハムスター・二十日鼠などの動物を大事に抱いて歩く子どもがいます。ペットショップのアイデアは、遠足で動物園に行った時に小さな動物を膝の上で触らせてもらった体験が基になっています。動物園がやりたいという始めの提案から話し合いをして、ペットショップになったそうです。小さな動物をそっと、優しく、抱きたいとの子どもの思いが形になっています。お店屋さんだけではなく、町の中を電車やバイクが通る風景も作っています。電車やバイクの絵をダイナミックに描いた大きな段ボールを持って賑わいの中を子どもたちが生き生きと動き回ります。ハンバーガーショップは、店内で注文を取る係りと、調理をする係りが決まっています。イートインではお客さん役の子どももいます。カウンターにはメニュー表やおつりのコインも揃っています。何から何まで子どもたちが楽しんで作った、ごっこ遊びの世界がずっと続きます。系列園の友達も遠くから遊びに来てくれています。子どもたちのきらきらした笑顔と笑い声が保育園中にあふれていました。

## 事業者コメント

第三者評価を受審するのは初めてという職員も多く、最初は「第三者評価」と構えているところもありました。しかし、其々のグループに別れ、各項目毎に話しあいを進めていく中で、自分たちの日々の保育の振り返り、工夫すべき点、足りない点が多く出されました。また、非常勤も、各項目を話していく中で、正規職員だけでは気づかない貴重な意見も多く出され職員がひとつになった思いです。

利用者アンケートでは、総合満足度は約 94 パーセントと高い評価でした。具体的には、満足度の高いものは「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「感染症の情報提供」「こどもが給食を楽しんでいるか」等は 100%満足度をいただきました。一方、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」等では課題も見られました。

開園 5 年目の園です。  
ベネッセの「その子らしく伸びていく」を第一にし、人格の土台をつくる大事な乳幼児期のこどもたちに対して丁寧な援助を今後もやっていきます。地域の方とのふれあい、育児支援など課題とされた項目については今後取り組んでいきたいと思っております。

また、第三者評価機関の方より、外部から園を評価していただき、当園の良いところ、課題を明確に出していただいたことについて感謝しています。

お忙しい中、利用者アンケートにご協力いただきました保護者の皆様にはお礼を申し上げます。  
今後もこどもたちが健やかに成長するために、保育の質を高め保護者の方が更に安心できる施設として、職員一同努力してまいります。

園長 中野 歳恵

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

- 市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

- 横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

- かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町4-49 NGS横濱馬車道802号室

TEL : 045-222-6539/6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>